



産業用インクジェット
プリンタ (大文字用)
Kettle Foods 社用途
事例



Kettle Foods 社は段ボール箱の印字工程のオンデマンド印字を通して稼働率を上げて、ポテトチップスの製造に注力できるようになりました

Kettle Foods 社は、自然素材を使用した世界一おいしいポテトチップスを作ることに熱意を持って取り組んでいるメーカーです。1982年に創業されて以来、この企業は「ケトルフライ(釜揚げ)製法」のポテトチップスを完成させ、現在 Kettle Brand® のポテトチップスは米国の50州を始めとして、カナダ、アジア、西ヨーロッパのスーパーマーケットや自然食品店で販売されています。

米国ウイスコンシン州ベロイトにある Kettle Foods 社の製造工場では、記録的な速さで需要が伸びている中西部と西海岸の市場の消費者向けにフル稼働で製品を製造しています。

2007年3月にベロイトの工場が操業を開始したときに、この企業では5台の産業用インクジェットプリンタ (大文字用) Videojet® 2300 シリーズを生産ラインに導入して、出荷用段ボール箱にオンデマンドで可変データを印字するようになりました。このプリンタは、Kettle Foods 社が印字について頭を悩ませることなく、自社の製造とプロセスに集中するために必要な信頼性と稼働時間を提供しています。さらに、このプリンタを導入したことで、Kettle Foods では最終製品を出荷するために保管しておく必要のある事前印刷した段ボール箱の数を減らすことができ、廃棄物が削減できたため、環境保全目標達成の一助ともなりました。

「ビデオジェットのパリントは、最大で毎日 24 時間、週に 6 日間稼動しても、耐久性や信頼性が高く、使いやすいため、弊社の工程に容易に組み込むことができました。」

Bob Manzer 氏、
Kettle Foods 社工場長



ダウンタイムの短縮は、ビデオジェットプリンタが Kettle Foods 社にもたらした最も大きな利点の 1 つです。

Kettle Foods 社のチップスは、表面がクラフト紙の段ボール箱でベロイトから流通業者や小売業者に出荷されます。GS1 ITF-14 バーコードと、人間が読み取れる製品に関する情報を印字して、配送中のロットのトレーサビリティに役立てています。人間が読み取れる情報には、製品番号、製品名、各種の製造情報や賞味期限などが含まれます。

「毎回確実に情報の読み込みやスキャンができることが重要です。それなしでは、箱を出荷できないですし、再印字に余分な時間を取られます。」

ダウンタイムの短縮は、ビデオジェットプリンタが Kettle Foods 社にもたらした最も大きなメリットの 1 つです。ビデオジェットの技術者は、定期的に予防的メンテナンスを実施していますが、プリンタにはそれ以外にほとんど注意を払う必要がありません。

「当社のメンテナンス担当マネージャは、プリンタの稼働率が 99.99 パーセントであると見積もっています」と Manzer 氏は言います。「自分たちでメンテナンスをしなければならぬこともなく、予期しないトラブルが発生してビデオジェットに連絡するようなことも起こっていません。わたしたちはこれらのプリンタを完全に信頼して生産の拡大に専念できています。プリンタについて意見をオペレータに求めると、最初に「信頼性が高い」という言葉が返ってくるのです。」「現在、17 種類以上のフレーバーのポテトチップスと、10 種類のサイズの袋を提供しています」と Manzer 氏は述べています。「これだけ多くの種類の製品があるため、段ボール箱に入れる袋の数が変わり、各段ボール箱に印字する情報もさまざまです。ビデオジェットのプリンタを使用すると、ストックする必要のあるプレプリントした段ボール箱の数を最小限に留めておくことができます。これは、製品を詰めた箱ごとに印字する情報をカスタマイズできるからです。現在、8 種類の異なるフレーバーのチップスで、1 つのサイズの段ボール箱を使用できるようになりました。」

KETTLE
— BRAND —



「わたしたちの業界では、情報の表示が重要で、表示情報の間違いは許されません。特に食品の安全性の面では、トレーサビリティ実現のために正確かつ良質ではっきりした印字が不可欠です。ビデオジェットのプリンタでは、明瞭なコントラストが得られ、すべての外箱に非常にはっきりと印字情報が印字できます」と、Kettle Foods 社の工場長、Bob Manzer 氏は述べています。



「段ボール箱にラベルを貼り付ける場合、当社では、ラベルの保管、ラベルの印字、外箱への貼り付け作業が発生します。」と Manzer 氏は言います。「私達は、ラベルの廃棄や、ごみになるラベルの裏紙、ラベルの貼り付け作業にかかる時間をなくせることから、箱に直接印字する方法を選択しています。」

生産ラインでは、Videojet 2300 シリーズプリンタの小型のプリントヘッドが、箱を閉じるテープを貼り付ける機械の内側に取り付けられており、プリンタに余分なスペースも取られず、2つのプロセスを1回で実行できるため、効率が上がりました。オペレータがチップスの袋を外箱に詰めると、外箱はテープで閉じられ、同時に印字されます。閉じられた段ボール箱は手作業でパレットに載せられ、配送センターや小売業者に出荷されます。

「ベロイト工場は自動化されているため、データ収集や工程管理などに使用される電子機器が数多くあります」と Manzer 氏は述べていま

す。「ビデオジェットのプリンタは、最大で毎日 24 時間、週に 6 日間稼動しても、耐久性や信頼性が高く、使いやすいため、弊社の工程に容易に組み込むことができました。」

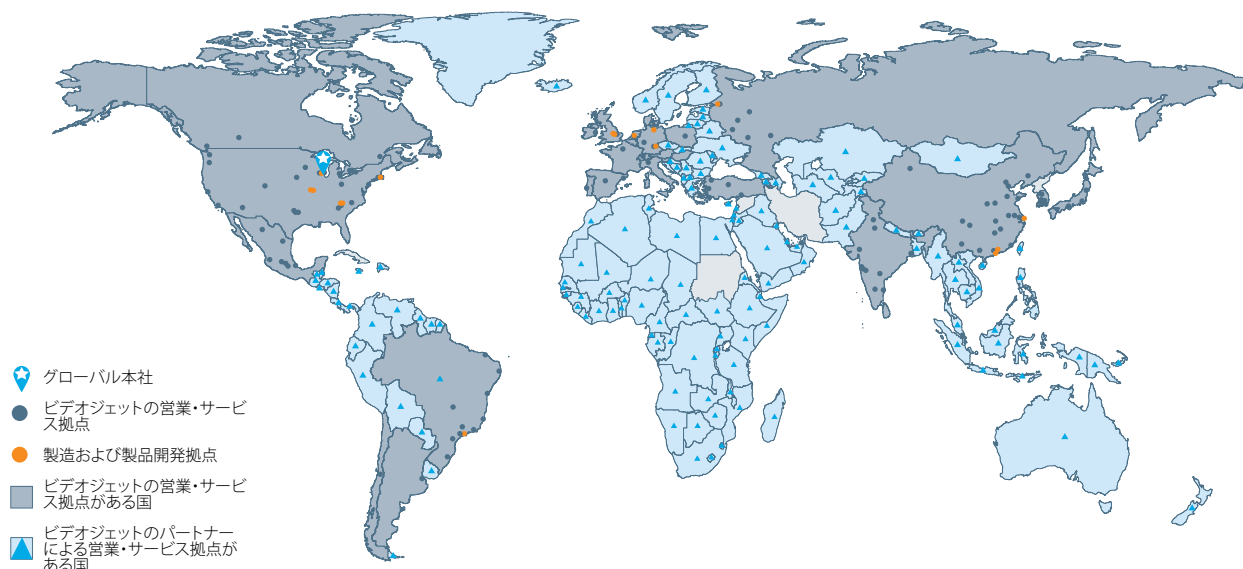
Manzer 氏によると、印字情報の変更も 1 分以内で済むそうです。オペレーターは、プリンタのインターフェイス画面から事前設定されたメニューにアクセスし、印字対象の製品 SKU を選択するだけで切り替え作業が完了です。印字される情報は全て自動的に設定されるため、新しい製品が製造ラインでパッケージされるときも、簡単に情報を変更できます。この企業のもう 1 つの特長は、会社方針としてより環境に配慮できるように継続的にパッケージオプションを見直していることです。Kettle Foods 社では、ビデオジェットのプリンタにより、可変データを箱に直接印字できるため、数多くの種類のプレプリントされた箱を準備する必要がなくなり、ラベルを使用しないことで、この目標に貢献しています。

ビデオジェットの可変データマーキングシステムを外箱の印字に使用している Kettle Foods 社の製品には、常に情報がはっきりと正確に印字されています。Kettle Foods 社の場合、プリンタが安心の稼働率を実現し、企業は優れた品質のポテトチップスの製造に専心できるようになりました。

安心がビデオジェットの標準

ビデオジェットは産業用の印字およびマーキングソリューションを提供する世界的なメーカーです。当社の 325,000 台を超えるプリンタが世界各地で導入されています。その理由は下記の実績です:

- 40 年以上にわたるグローバルレベルでの実績に基づく専門的なノウハウを活かし、お客様が生産環境に最適な高効率のソリューションを選択、導入、そして活用できるようにサポートします。
- 広範な用途に具体的な成果をもたらす幅広い製品と技術を提供しています。
- 当社は革新的なソリューションを提供します。新技術の研究開発、継続的な改善に積極的に投資しています。常にマーキング業界の最前線で活動し、お客様が市場の最前線で活躍できるよう支援します。
- ビデオジェットは、製品の長期的信頼性とお客様への卓越したサービスの両面から高い評価を得ており、お客様に自信と安心感をもって製品をお選びいただけます。
- 世界 135 か国に及ぶグローバルネットワークには、3,000 名を超えるスタッフと 175 社を超える代理店および OEM 業者が含まれています。お客様からのご用命には、いつでもどこでも迅速にお応えします。



0120-984-602 または
info@videojet.co.jp にご連絡いただくか、
www.videojet.co.jp をご覧ください

ビデオジェット社
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10
テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2014 Videojet X-Rite K.K. — All rights reserved.

ビデオジェット・エックスライト株式会社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用の際は最新の情報をご確認ください。

20151023

